

保育北九州

令和2年7月1日
発行 (一社)北九州市保育所連盟
〒805-0019
北九州市八幡東区中央2丁目1-1
(レインボープラザ5F)
電話(093)661-2153番
発行人 酒井 光 義
編集人 西 敏 昭

2020 200



※過去の保育北九州各号の表紙の写真を使用しています

おかげさまで
200号

表紙	1
「保育北九州 200記念号」発刊によせて	2～3
お祝いの言葉	4～5
メモリアルメッセージ	6～7
200号 特別企画 アンケート	8～9
「保育北九州—創刊号」をひも解いて	10～11
編集後記	12

編集後記

— 今 昔 —

「保育北九州」200号記念号を関係各位の御協力を仰ぎ発刊できました事を心より感謝申し上げますと共に厚くお礼を申し上げます。

又、お忙しい中、原稿の執筆を戴きました関係各位、諸先輩の先生方の皆様には御礼を申し上げます。

平成7年7月1日に発刊されました「保育北九州」100号記念号の資料を基に編集委員一同、事務局と共に企画を進めてまいりました。

資料によれば昭和38年8月20日創刊号が産声を上げ3回で発行を中断、昭和47年10月10日に再度発刊と紆余曲折を繰り返しながら現在の「保育北九州」と整えてきました。

初代、北九州市保育所連盟会長(西村 法昭先生)は、昭和50年10月に発刊された創刊号「保育北九州」の中で将来保育に関する諸問題や各区連盟支部間の連絡、各施設の近況等の活用を期待すると述べていました。今日に至る歴史とその歩みを確実に伝えて行く事の大切さを感じ、今まで培われた歴史と実績を踏まえながら新たな一歩を踏み出していきたいと思います。

前編集長(日野 真人先生)には2017年第189号編集後記「縄文杉」を最後に病に倒れられました。「わたしも子どもたちを見る時、ありのままそのまの人間の尊厳を感じていける保育者になりたい」と締めくくっています。

「保育北九州」編集委員一同、日野前編集長の意志を継ぎ親しまれる広報紙を目指し、より良い紙面作りに邁進したいと思います。皆様には末永くご愛読いただければ幸いです。

今後の皆様のご健勝を願い編集後記とさせていただきます。

「保育北九州」編集長 西 敏昭



編集人一同より

「保育北九州 2000 記念号」発刊によせて



北九州市子ども家庭局長

福島 俊典



北九州市保育所連盟広報紙「保育北九州」第2000号の発刊をお祝い申し上げます。

北九州市保育所連盟の皆様には、本市の将来を担う子どもたちの健全育成や子育て家庭の支援のため、日々ご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

昭和38年、五市合併による本市の誕生とともに、北九州市保育所連盟が発足しました後「保育北九州」は

昭和50年10月の創刊以来、保育に關する様々な情報を発信し続けています。今日まで45年間の長きにわたり、編集に携われてきた関係の皆様に変更をさせていただきます。

発足当時、公立私立合わせて68か所でありました保育所は、今日では166か所に増加し、核家族化や女性の社会進出、就労形態等の変化に合わせて、子どもや子育て家庭を支えていただいております。また、多様化する保育ニーズに対応するため、延長保育や一時預かりなど、特別保育も著しく充実してまいりました。

このように保育の充実が実現できたのは、保育を担ってこられた先人たちが「視点は子どもたち」を信念として、公私一体となり、互いに熱意と信頼をもち、「子どもの最善の利益」を最優先に考え、取り組んでこられた結果であります。

この先人の方々の足跡を、次世代の保育に携わる方々に継承できるよう支援していくことも、保育所運営に携わる私たちの大切な使命であると感じているところです。

本市では、今年4月から「元気発進！子どもプラン（第三次計画）」をスタートさせました。

「子どもたちの未来を育み、みんなの笑顔がふれるまち北九州」を基本理念とし、子ども・子育てに関する施策をさらに推進してまいります。

今年度の新たな取組みとして、4月から民間保育所に通う3歳以上児の副食材料費について、一部公費負担を開始いたしました。また、昨年10月から開始した「保育士宿舍借り上げ事業」についても拡充して、保育士の皆様が働きやすい環境の整備に取り組まれます。今後も「子育て日本一」を実感できるまちの実現に向け、「保育環境の更なる充実・強化に取り組みでまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

たします。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましましては、福岡県の緊急事態宣言は5月14日に解除されましたが、今もなお、予断を許さない状況が続いています。そのような中、保育に従事する皆様におかれましては、子どもたちや保護者の支援のため、日々の保育の中で、懸命に子どもたちの心とからだを守ってください、改めて深く感謝申し上げます。

このウィルスとの闘いは長期化する予測されています。子どものいのちと健康を守るため、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、一日でも早く、平穏な日常生活が戻るよう、皆様と一丸となって取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に北九州市保育所連盟の益々のご発展と関係者の皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

(一社)北九州市保育所連盟

会長 酒井 光義



1975年(昭和50年)10月より創刊された「保育北九州」が本年7月発刊をもって2000号を迎えることになりました。歴代の会長の保育に対する想いと共に、積み上げてきた発刊数の中2000号という大きな区切りに合わせていただくご縁のあったことを大変うれしく思います。

昨年末発生した「新型コロナウイルス感染症」は猛威を振るい、世界中を取り巻いて膨大な感染者を出すとともに多大な死者を生み出し、そうした環境はまだまだ終息を迎えるものではありません。更にはコ

ロナショックと呼ばれる経済活動にも大きな影を落とし、予防対策としての自粛政策等の影響でこれまでの社会活動の復活もままなりません。

この最中、まずはこの感染症に亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、入院加療中の皆様にお見舞い申し上げます。そして今もなお懸命に治療等にあらわれている医療関係者の皆様を筆頭に、社会インフラを支える仕事に従事されている皆様に感謝とエールを送りたいと存じます。

また、その一角である保育の現場で、それぞれの立場から子どもの命を懸命に守っている当連盟会員の皆さんに何よりの感謝とエールを送ります。この度の感染症対策における各事業の対応の中で、保育所(園)等は現代の社会構造や経済活動を支えるうえで、無くてはならない重要な施設であることが明確に認識されました。

その上で、なおかつ安全安心な環境の中で児童の発達補償と健全育

成をしていることの大切さは、社会はもちろんのこと、保護者においても長期にわたる家庭保育を経験することで、改めて実感し認識していただいたことであります。今こそ「保育」という世界に従事し、子どもたちと共に歩んでいる自分自身に対して、誇りと自信を持って取り組んでいただきたいと思うことです。

これまで「組織は力なり」という言葉を聞かせていただきながら連盟のお役を務めさせていただいてきたことですが、その組織をまとめるための意識の高まりの一翼を担ってきたのがこの機関紙の使命であり、各界の情報提供や組織の一員であることから生まれる発表や会員の資質向上の場であったことを改めて感じます。

昭和49年の入職から間もなくこの機関紙との出逢いでありました。それから今日までの間に研修等の報告をし、何らかの寄稿もさせていただくなど多くの経験をさせていただいたことはとても感謝です。会

員の皆様もぜひとも保育に対する思いを寄せていただきみんなで共有できればと念じます。

これまでに多くの関係者の皆様によって育てていただいた「保育北九州」です。この度はその関係者の中から数名の諸先生方より「お祝いの言葉」を寄せていただきました。紙面をお借りし、お礼申し上げます。発行に係る色々な思いの皆様とともに味わいたいと存じます。そしてまた新たな出発とさせていただきますと思います。

最後に、これまでに携わった編集委員長をはじめ委員の方々に「ありがとうございます。とお礼と、今後の皆様にして会員関係の皆様に対し、「今後どうぞよろしくお育てください。」との言葉を添えて送ります。



お祝いの言葉

(公社)北九州市私立保育園連盟

会長 岡村 信久



(一社)北九州市保育所連盟の機関紙「保育北九州」200号の発刊、誠にありがとうございます。昭和50年10月の創刊から今日まで、45年間にわたり発刊に携わってこられた多くの編集委員の先生方や関係者の皆様のご苦労とご努力に対し、深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

保育北九州といえ、私にはこれまで楽しみにしていたコーナーが2つありました。その1つは、38号から179号まで毎号寄稿された藤岡 佐規子先生の「視点」です。

北九州市保育士会

会長 北野 久美



「保育北九州200号」発行おめでとうございます。これまで編集に関わられたすべての先生方に心から感謝いたします。本当にありがとうございます。

北九州市保育所連盟にとって、その足跡を歴史を残す大切な機関紙であり、会員一人一人のお手元に届けられるメッセージの深さと重みを再認識しているところです。

会長の言葉、藤岡先生の視点、研修報告、各支部の活動等、大事なポイントが集約された機関紙ですが、私の手元にあるたくさんさんの「保育北九州」の中でも、1986年3月第61号の編集後記が、今、かつ

時宜を得た保育の課題について率直な思いが語られていて、保育北九州が手元に届くと真っ先に視点を読み、大いに啓発されたものでした。

もう1つは、148号から193号まで編集長を務められた西教寺保育園の日野 真人先生の「編集後記」です。視点を讀んだ後、直ぐに保育北九州を裏返して編集後記を読むのが私の愛読パターンでした。短文に凝縮された彼の保育に関する繊細な感性や、洞察力の鋭さに驚嘆し、文豪の片鱗を感じさせる表現力、文章力に毎回魅了されました。

現在ご療養中の藤岡先生、日野先生のご本復を心から念じてやみません。「保育北九州」が「次号の発行が待たれる」機関紙として300号400号と続きますよう念願いたしますとともに、編集委員の皆さんの今後ますますのご奮闘を心から祈念いたしまして私の祝い言葉とさせていただきます。

てない状況に置かれている私たちへの先輩からのエールのように感じます。

『保育を真に守れるのは我々現場の人間以外にありません。保育者としての悔いが残らないよう自信と誇りを持って、さらに積極的な保育の展開を努力しましょう』(編集後記・西村 良樹編集長 会長・西村 法昭先生)

激変する保育施策、今やパンデミックとなっている新型コロナウイルス感染症、年々被害が甚大になる自然災害、こういつたいろいろな事柄にも、簡単に休園などせず、一つ一つ丁寧に対応している保育者。子どものいのちを守り心を育てるという使命と保護者の就労支援という役割を忘れない私たちが、根底に流れる想いは、まったくブレていないと痛感します。

現場の人間以外に保育は守れないのですから、その内容や実績を語る現場発信の機関紙としての役割も大きいと思います。

悔いが残らないように、そして積極的に、今後も「保育北九州」への発信、「保育北九州」での発信を大事にしたいと強く思った200号の歴史です。



保育所連盟創立50周年記念式典・祝賀会 (平成25年)



第50回北九州市保育研修大会 (平成24年)



保育所連盟50周年記念事業 ようこそ！ 保育まつり (平成24年)



わっしょい百万夏まつり 百万おどり (平成21年)



保育まつり (平成10年)



北九州市保育所職員新年交流会 (平成15年)



第20回北九州市保育研修大会 (昭和57年)



保育まつり (平成14年)



第15回北九州市保育研修大会 (昭和52年)



(一社)北九州市保育所連盟

顧問 西村賢了



2代目北九州市長 谷 伍平氏は、前任者が残された巨額の借金を解消するため予算の大削減を決意、その実行を地域に無関係の自治省の官僚M氏を助役に据え、予算に大鉈を振る

わせておられた時のことです。

保育予算も例外ではありません。そこで北九州市保育連盟会長 西村法昭先生は、助役に会見を求め交渉をされるのですが、助役の態度は冷たく取り付く島もありません、時間はいたずらに過ぎてゆきます。

その時、会長は突然立ち上がり「俺たちは、はいと(乞食)じゃないぞ」と、大声でどなられたのです。これは「見暴言のように聞こえますが、深い意味がありました。

戦前の託児所は戦後保育所に変わりましたが、単に名称が変わっただけではありません。

慈善事業から脱却し、児童福祉法による国の公的事業となったのです。会

長は助役の慈善とみる態度に我慢ならなかったのです。この誇り高い精神こそ、保育の心でなければならぬと私は思うのであります。

(一社)北九州市保育所連盟

顧問 藤岡 佐規子



「保育北九州」200号の発行おめでとうございます。今年で91歳を迎えた私も長い間原稿を書かせて頂きましたが、昭和57年、当時の編集長でいらした内藤知徹先生より、第38号から設けられた「視点」への執筆依頼を受けたのがきっかけでした。

1995年(平成7年)100号記念は戦後50年と重なり、ニーズの高い乳児保育、長時間保育、緊急・一時的保育、子育て支援、後継保育士の養成問題等々、社会・経済の変化に

よって生じる新たな制度や課題について、21世紀を目前に保育現場の意識改革を同時に危機的場面の子どもや親への受容的対応をどう具体的に機能させていくのかを切実な思いで綴りました。

私は当初から「人間の根っこを育てる保育」が最も大切であることを訴えてきました。

人間の根っこである乳幼児期の「保育の質」が重要視され「保育の質」を確保する豊かな人間性と専門的知識・技術を持つ保育士の温かい存在がいかに大切であるかを主張して参りました。

北九州市保育所連盟が行政と共に培ってきた北九州の保育が、子育て日本一を実感できるまちを実現し続け、私がお浄土へ旅たつても、視点はいつも子どもたちをいつまでもお心に留めておいて頂けることを願っています。



(一社)北九州市保育所連盟

顧問 北野 一恵



1963年2月北九州市の誕生と共に北九州市保育所連盟がスタートしました。8月には、「北九州保連だより」創刊号が発刊され、故 西村 法昭初代会長の「発刊にあたって」の寄稿文を中心に、編集委員さん(各区1名選出)にご努力頂きました。以後、12年目、1975年10月に表題も変わり「保育北九州」創刊号が発刊されました。

編集委員さんは原稿集め、内容の検討とご苦労されております。私たちは、子ども達の最善の利益をめざして活動しておりますが、新型コロナウイルスの感染ケースがニュースに取り沙汰されています。医師と同じ様に子ども達と接触される先生方の健康を案じております。どうぞ、ご自愛の

上、更なるご活躍・ご発展を心より念じております。

(公社)北九州市私立保育園連盟

前会長 橘原 淳信



保育北九州200号の発刊、おめでとうございます。「継続は力なり」と言われますが今回の発行に至るまでには、数多くの諸先生のご尽力があったればこそと、携われた方々に敬意を表します。

昭和50年10月発行の「保育北九州」創刊号に、故 西村 法昭先生が「保育北九州の発刊にあたって」と題し執筆された文中に、「機関紙の発行は組織の結束力を示すものとして必要不可欠であり、保育の諸課題はかねてより会員の意見・提言を掲載することにより連盟の発展に欠かせないもの」

(一社)北九州市保育所連盟

前会長 平沢 茂



はじめに、日本のみならず世界を襲っている感染症の中で、北九州市の保育事業に携わっておられる皆様方とご家庭の皆様にご心よりお見舞い申し上げますと共に、ご健康を祈念申し上げます。

さて、この度は「保育北九州200号

記念紙」発行のお知らせを受け、心から祝い申し上げます。

一言で200号と言いましても、その内容は、およそ半世紀にわたり、北九州市のみならず日本全国の保育事業の歩みと研鑽の歴史が綴り続けられた大切な機関紙であることは言うに及びません。

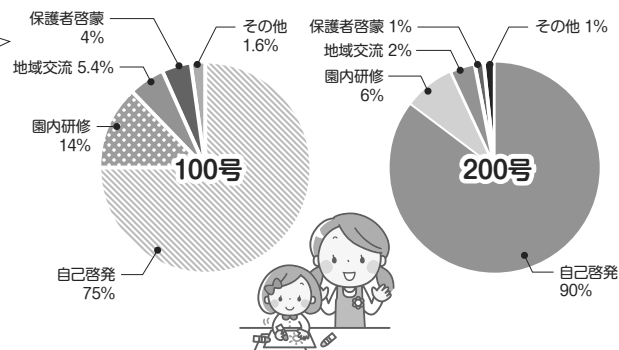
132〜147号の4年間にわたり、企画力も編集力もない私が、前任の編集長であった北野 一恵先生から20余りの引き継ぎのご助言をいただき、その1項目に「本誌発行の重要性から編集委員の継続性を保つこと」をお受けし、各支部から先生方を選んでいただき、事務局の方にもお支えをいただきました。

その上、紙面において最も大切な「視点」のご寄稿と常に編集の全般にわたりご指導くださった藤岡 佐規子先生のお力添えにより、その責を果たさせていただきましたことは誠に有難く、紙面をお借りして、改めて心からお礼を申し上げます。

おわりに、編集委員の皆様、そして「保育北九州」と北九州市の保育事業のますますのご活躍とご発展を祈念申し上げます。

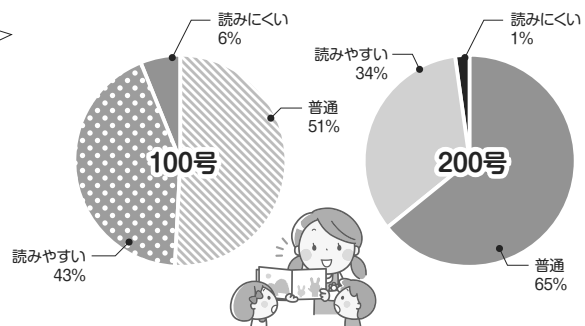
ありがとうございます。

③ 「保育北九州」をどのように生かしますか？



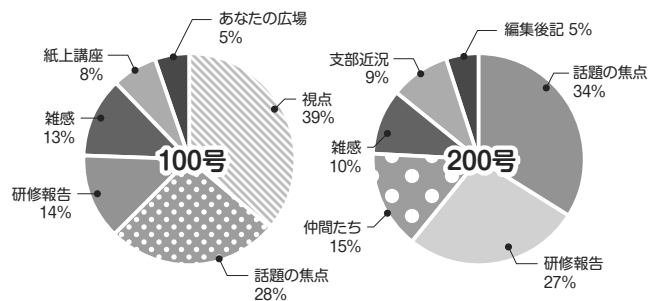
・今号でも自己啓発を高めたという保育士の学びに活用されているという結果に感激です。一方園内研修の活用度が下がっているのが今後の検討課題となります。

④ 内容についてどう思われますか？



・ほとんどの方が保育北九州をご理解いただけている結果。100号に比べて200号では「普通」が増え、「読みやすい」が減少していることを真摯に受け止めています。

⑤ 続けてほしいもの



・様々なご意見をいただき、ありがとうございます。また、読むやすさ、親しみやすいものを作りたい！編集員一同、新たな気持ちで取り組んでいきます。

新しく取り上げてほしいもの

- 制度の紹介
- 保育事業の実施状況 (一時保育、小規模保育)
- 安全衛生・アレルギー・実習、教育などの課題への取り組み・説明
- 障害・疾病の解説
- 自園の取組みの紹介・行事等
- 我が園の工夫
- 園で使っている遊具・玩具
- 保育室の様子・工夫
- 遊びの紹介
- 園で見られた子供の姿・エピソード
- 子どものこづかい・面白い言葉
- 保育士のインタビュー



どう生かす「保育北九州」

— 自己点検とニーズを反映 —

200号 特別企画 アンケート

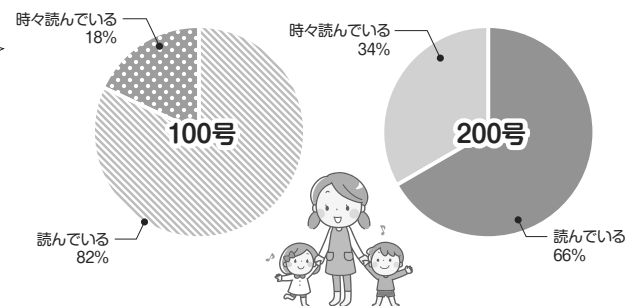
昭和50年に創刊された「保育北九州」は昭和・平成・令和と三つの時代を超え、保育に関する情報やメッセージを発信し続け、今回200号に至りました。私たちの保育が時代の変化の波に流されず、子どもたちの幸福につながるよう、情報発信の場として歴史を刻んできました。これも会員の皆様の信頼と応援があったからです。

今回の企画では100号(平成7年)でのアンケートと比較して、会員の皆様の意識やニーズの変化を知ること、これからの「保育北九州」の求められる姿を考えたいと思いました。

次の300号を目指して「保育北九州」が皆さまに愛され、少しでも保育に活用できるものになるよう、編集員一同努めていきます。アンケートにご協力くださった方々に感謝いたします。ありがとうございました。

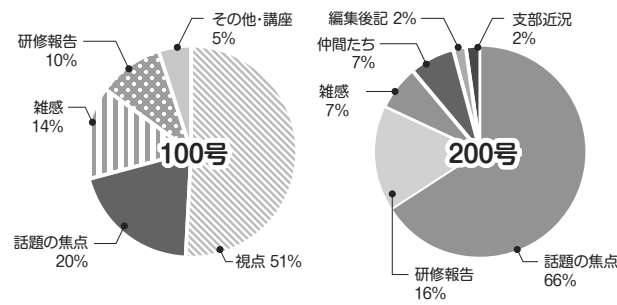


① 「保育北九州」を毎号読んでいますか？

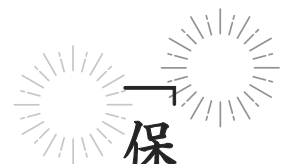


・創刊100号の時と同様、今回も時々を含めると全員が読んでくださっているという結果！うれしい限りです。

② 「保育北九州」をどこから読みますか？



・今回のアンケートでは「話題の焦点」が100号で一位だった藤岡佐規子先生の「視点」は179号まで続けていただき、保育士の心に残る宝物となっています。



「保育北九州」をひも解いて

「保育北九州2000記念号」を発行するにあたり「保育北九州」創刊号(昭和50年10月15日発行)を拝読して発刊にあたる当時の先人の想いをひも解くことに致しました。

当時の北九州市保育所連盟会長であった西村 法昭先生の挨拶文には「保育北九州」へのあつい思いが綴られていました。

「保育北九州」の前身である「北九保連だより」は北九州市誕生と同じ昭和38年に、当時のご苦労にも関わらず発刊ができた事実には驚かされました。現在は各区の編集委員が定期的に会議を行い、原稿内容を考えたり依頼したりしながら発行しています。今後も西村法昭先生の思いを引き継ぎ委員の皆様にも永続して頂けるように精進してまいります。

▶楽しい遠足でのぶどう狩り。
表紙は当時の北九州市長であった谷 伍平氏の追筆



▶創刊号2ページより抜粋

「保育北九州」の 発刊にあたって

北九州市保育所連盟

会長 西村 法昭

この度北九州市保育所連盟において機関紙「北九保連だより」の発展充実をめざして新しいものに「保育北九州」と改名し発刊することになった。

今回の発刊にあたって切望してやまないことは関係者の皆さまに親しんで興味深く読まれる会報であり次号の発刊を待たれる機関紙として中断することなく北九保連の続く限り永続されるよう斬新の企画のものとお取りくみ願いたいことを編集委員の諸先生に先づもつてお願い致します。

実は北九保連機関紙創刊号のご挨拶を私はこれで三回致す次第です。



即ち第一回は昭和三十八年八月二十日付創刊号でこのときは北九州市が生れて日なお浅く保育行政においてそれぞれ各区独自施策の施策が講ぜられており、従って運営管理の指導においても又は民間

施設に対する助成措置にいたしても或は職員の勤務形態に關しても各区バラバラで何等連絡調整は行われていなかった次第。

これではならじと一日も早く、各区のこうしたデコボコを一本化して貰ねばとの意

気ごみで保育関係者は民間諸団体に先がけて、北九州市保育所連盟連絡協議会を結成し早々にして「北九保連だより」を発刊した次第。

今十二年前に創刊された「北九保連だより」に見入っている。今は故人となられた前理事長鷹嶋親俊氏の創刊を祝しての

遺稿は胸を打つものがあり、感無量。

その後中断され次に発刊されたのが昭和四十七年十月十日付の「北九保連だより」である。これは第十回北九州市保育研修大会が開催されるのを記念しての発刊であった。

その後諸般の事情とでも申しましうから三回発行で中断。こうしてみれば専従者なく機関紙を永続させることのむずかしさをしみじみ痛感させられる。

然しこの度は、市当局の積極的な助成措置もなされており隔月と云わず来年度からは是非月刊にまで持ちこみたいものである。

最後にこの「保育北九州」が将来保育に関する諸問題は勿論のことながら各区連盟支部間の連絡なり各施設間の近況なり運営状況なり、更には保護者の率直な声なり、又は保健等、もろもろのご意見を原稿不足でお困りにならないよう格段の御協力をお願いいたします。本紙が大きく活用されますよう念願致しまして創刊のご挨拶と致します。

永遠の会報であれ

——歴代発行人・編集人——

号数	発行日	発行人	編集人
創刊号～ 55号	昭和50年10月15日～昭和60年 3月31日	西村 法昭	松永 三好
56号～ 68号	昭和60年 5月31日～平成62年 7月 1日	西村 賢了	西村 良樹
69号～ 82号	昭和62年10月 1日～平成 3年 1月 1日	西村 良樹	江田 正行
83号～ 87号	平成 3年 4月 1日～平成 4年 4月 1日	西村 良樹	北野 一恵
88号～131号	平成 4年 7月 1日～平成15年 4月 1日	藤岡 佐規子	平沢 茂
132号～147号	平成15年 7月 1日～平成19年 4月 1日	藤岡 佐規子	平沢 茂
148号～154号	平成19年 7月 1日～平成21年 1月 1日	藤岡 佐規子	平沢 茂
155号～179号	平成21年 5月 1日～平成27年 5月 1日	平沢 茂	日野 真人
180号～193号	平成27年 7月 1日～平成30年10月 1日	酒井 光義	西 敏昭
194号～	平成31年 1月 1日～	酒井 光義	西 敏昭